

2025年度札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部 出張講義一覧

INDEX

【音楽学科】	1
【美術学科】	6
【地域社会学科】	11
【保育科】	17

【音楽学科】

■出張講義

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	講師プロフィール
M-1	実技系 (ピアノ)	教授 鎌倉亮太	伴奏のおもしろさ	ピアニストには、ソロを弾くだけではなく、ほかの楽器や合唱などと一緒に弾く「伴奏」の役割があります。伴奏とは、誰かに合わせて、後ろからついていくものではありません。時には指揮者の役割、演出家の役割も担う、大変面白いものです。上手な伴奏とはどんなものなのか、そのコツについて演奏を交えながらお教えします。	北海道教育大学札幌校芸術文化課程卒業及び、同大学大学院修士課程修了。フィンランド国立シベリウス音楽院へ留学。留学中クフモ室内楽音楽祭に参加。2006年札幌市民芸術祭大賞を受賞。2013年第12回中田喜直記念コンクールにおいてNHK旭川放送局賞、三浦洋一賞を受賞。 ピアニスト、指揮者として活動の幅を広め、2008年より、室内楽グループkuhmo'zを結成、全国各地で演奏会を実施し、札幌コンサートホールkitaraでのリサイタル公演を含め公演数は30回以上を重ねる。 また、北海道二期会「不思議の国のアリス」、「ショパン」（いずれも北海道初演）、kitara主催オペラ「ヘンゼルとグレーテル」の指揮を務める。 2019年度より、本学音楽総合コース主任として就任。
M-2	講義系 (音楽総合)		コンサートができるまで ～音楽のお仕事～	「音楽のお仕事」とはどんなものを想像しますか？ 演奏家、指導者、教師・・・実はそれ以外にも、音楽に携わる仕事はたくさんあります。例えば、ひとつのコンサートを開催するうえで、どれだけ多くの人に関わっているのでしょうか。舞台の上に立っている演奏家以外にも、様々な方が裏方として関わっています。 コンサートスタッフ、プロデューサー、オーケストラマネージャー、オペラの舞台スタッフなど、コンサートを作り上げるうえで、お客様から見えないたくさんの仕事があります。 本講義では、そんな音楽を生かした様々なお仕事についてご紹介します。	

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	講師プロフィール
M-3	実技系 (ピアノ)	教授 谷本聡子	アンサンブルの愉しみ	音楽は皆でも一人でもアンサンブル。 室内楽を演奏する上での役割と愉しみを、演奏を交えながらお話しします。	ハンガリーリスト音楽芸術大学卒業。日本人初のソリストディプロマを取得。ドイツフライブルク音楽大学院修了。ダルムシュタット、ボストン、ベルリン八重奏団、新ブダペストやケラー弦楽四重奏団、ザルツブルグゾリステン他、チェコのペレーニ等ソリストと、Bp弦楽合奏団、シティオケ、札幌、日本フィル等と共演。ヨーロッパ、カナダ、アメリカ、ロシアで演奏。PMFでウィーンフィルの首席達と共演。ルガーノ、ブダペスト春・秋の音楽祭出演。札幌市民芸術祭大賞、札幌市民文化奨励賞、'17年、ハンガリー政府より、文化勲章受賞。'20札幌芸術賞受賞
M-4	実技系 (声楽)	教授 三山博司	良く響く声・明瞭な発音を身につけよう ～より良い独唱・合唱を目指して～ (兼・合唱部指導)	「声」という楽器の特性を理解し、良く響かせるためにブレス（息）や体の使い方を初歩からわかりやすく学んでいきます。そして声のテクニクを使って美しい発音（特に日本語）で歌うことを実践します。また作曲家がどのように考えてテキスト（詩）に旋律やハーモニーを付けたかを楽譜を手掛かりに一緒に考えていきましょう。	東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程修了。博士後期課程満期退学。博士後期課程ではB・ブリテンなどの20世紀イギリス歌曲を研究する。受難曲の福音史家や、バッハ、ヘンデル、モーツァルト、ベートーヴェンなどの宗教曲および「第九」のテノールソロを数多く務め、オペラではマスネ「ウェルテル」のタイトルロールをはじめ、多くのフランス・オペラ、オペレッタに出演している。これまでにイギリス歌曲や日本歌曲・フランス歌曲を中心としたリサイタルを開く。 札幌合唱連盟副理事長。
M-5	実技系 (声楽)	教授 針生美智子	良い声で歌おう	声は1人1人の身体が違う様に、唯一無二の楽器です。楽器＝身体をどう意識したら良い声になるのか、その意識の仕方、訓練の仕方をお伝えします。 声の妙技である「オペラ」の作品に触れながら、演奏を交えて、お話しします。	小樽市出身。札幌大谷短期大学卒業、同専攻科修了。文化庁オペラ研修所第11期修了。道文化財団、文化庁在外研修員としてローマに留学。第2回藤沢オペラコンクール第1位他多数受賞。新国立劇場「イエヌーフア」「パルジファル」「夕鶴」二期会、松本オペラ「魔笛」のほか、東京オペレッタ劇場「紅いりんご」「こうもり」「天国と地獄」「ジェロルシュタンの女大公」「魔笛」のほか、「コジ・ファン・トゥッテ」「電話」「リタ」「絹のはしご」など多数出演。二期会会員。

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	講師プロフィール
M-6	実技系 (クラリ ネット、木 管楽器 及び合奏)	教授 河野泰幸	いい音を出そう (部活指導)	どの楽器にも、それぞれ【いい音】があります。【いい音】で演奏しているバンドは、それだけでずっと聴いていたいと思えます。 そのような音を出すためには、一人一人のメンバーやバンド全体の特徴や個性に応じた、日々のトレーニング方法を見つけることが非常に大切です。みんなで音を出しながら、本物の音を手に入れる方法を考えましょう。	京都市立堀川高校音楽科、東京藝術大学音楽学部を経て、シュトゥットガルト芸術大学修了。在独中、リユーベック歌劇場、プフォルツハイム市立劇場のクラリネット奏者として研鑽を積む。海川雅富、村井祐児、三界秀実、ヴォルフガング・マイヤー、ノルベルト・カイザーの各氏に師事。第10回京都芸術祭で「京都市長賞」受賞。「Trio Rintonare」のコンサートが評価され青山財団より2008年度バロックザール賞を受賞。2022年度札幌市民芸術祭奨励賞受賞。現在、札幌大谷高校音楽科非常勤講師。
M-7	実技系 (クラリ ネット、木 管楽器 及び合奏)		木管楽器の今と昔	今はもう演奏されることが少ない昔の楽器（古楽器）から現代の楽器(木管・クラリネット)まで、どのように楽器が進化していったのか？紆余曲折が有り今の形になりました。演奏を交えながら説明します。	
M-8	実技系 (金管楽器)	教授 大隅雅人	金管楽器の基礎練習および全体合奏指導。	音楽を奏する時に、豊かな幅広い響きで、自由に演奏できるとどんなに素晴らしいでしょう？素晴らしい音色や柔軟性を得る為の練習方法や、息づかいがとても重要になってきます。30年以上務めた一流のプロのオーケストラでの経験を生かし、皆さんと一緒に音を出しながら、あなたにとってベストな練習メニューを考えます。 また現在バンドで取り組んでいる曲をもとに全体合奏を指導し、音楽の組み立てやハーモニーなどの完成度を向上させるレッスンをしていきます。	札幌出身。日本大学芸術学部音楽学科在学中より東京シティフィル、東京交響楽団、東京佼成ウインド等へ客員。東京金管五重奏団第一トランペット奏者、新星日本交響楽団団員(現、東京フィル)を経て東京交響楽団へ首席奏者として入団。文化庁在外研修員制度によりニューヨーク、マネス音楽院へ留学し、ニューヨークフィル V・ペンツァレラ氏に師事。呼吸法を元シカゴ交響楽団チューバ奏者故A・ジェイコブス氏に師事。第4回日本管打楽器コンクール第3位入賞。元 東京交響楽団首席トランペット奏者。

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	講師プロフィール
M-9	講義系 (音楽概論・ 音楽史)	教授 千葉 潤	音の不思議 遊びながら 学ぶ音の仕組み	物理現象でもあり、音楽の基礎でもある「音」は、不思議な魅力をもっています。ばね電話やグラスのハーモニカ等での実験を通して、音の謎に迫ります。	東京藝術大学大学院音楽研究科後期博士課程満期退学、ロシア国立モスクワ音楽院大学院音楽理論科修了。2003年に芸術学カンディダート（Ph.D）取得。洗足音楽大学、くらしき作陽大学、北海道教育大学等の非常勤講師を歴任。専攻は音楽学・現代ロシア音楽。著書に「作曲家人と作品 ショスタコーヴィチ」（音楽之友社）、「アリフレド・シュニトケの交響的創作：間テキスト分析の試み」（モスクワ・コンポジットル社、露語）。共編著に「ロシア音楽事典」（カワイ出版）など。
M-10	講義系 (音楽概論・ 音楽史)		吹奏楽の歴史と文化	身近に接している吹奏楽や管楽器・打楽器の生い立ちを知っていますか。面白い格好をした過去の楽器や、様々な器楽合奏の例を辿りながら、吹奏楽の誕生や楽器の変化を振り返ってみましょう。	
M-11	講義系 (作曲)	教授 小山 隼平	もうBGMとは呼ばせない	映画やテレビを見ていると、あるシーンに音楽が流れたりしますね。だいたい音楽はシーンの内容に「合わせて」付けられると、多くの人が考えます。でももし、音楽の方が主導権を握るとしたら？ ただのBGMにはならない「付随音楽」の力を、選曲をしながら感じていきましょう。	東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。北海道教育大学大学院教育学研究科修了。2008年奏楽堂日本歌曲コンクール・一般の部で、寺山修司の詩による「四つのちぎれた歌」が第1位を受賞。第2回TIAA全日本作曲家コンクール・室内楽部門では「オーボエ五重奏曲」が第2位を受賞。また、俳優座劇場プロデュース公演「音楽劇 わが町」でピアニストを務めるなど、演劇の分野での活動も行っている。現在、北海道教育大学教育学部教員養成課程講師（非常勤）。
M-12	講義系 (作曲)		身近な音楽を考える	ポピュラー音楽、劇伴音楽、アニソン、施設やお店で流れるBGMなど、私たちの身の回りにはいろいろな音楽があります。普段の生活の中で、なんとなく耳にしている音楽たちについて、ちょっと真剣に考えてみるのも面白そうです。割と意外な発見があるかもしれません。	

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	講師プロフィール
M-13	体験ワーク ショップ系 (音楽療法)	教授 高田由利子	コミュニケーション力を 養おう！	音楽療法士に求められる能力の一つに コミュニケーション力があります。主 に『聴く力』、『観察力』そして『共 感する力』などを高めていくことでコ ミュニケーション力は向上されます。 講義では、『音を媒体としたコミュニ ケーション・トレーニング』の概要を 学び、聴く力や観察力などの手法を用 いて実際にコミュニケーション力が高 まるワークを体験してみましょう。終 了後にコミュニケーション力が上がっ ていることに気がつくでしょう。	洗足学園音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。同 大学付属音楽療法臨床センターにおいて音楽療法の実習 指導に携わる。その後、米国留学し、レズリー大学大学 院表現アーツ学科音楽療法・メンタルヘルスカウンセリ ング科修士課程修了。ニューヨーク、ノードフ・ロビン ズ音楽療法センターにてディプロマ取得。東京大学大学 院学際情報学府文化・人間情報学コース博士課程満期退 学。日本音楽療法学会認定音楽療法士。ノードフ・ロビ ンズ音楽療法士。共編著に「ケースに学ぶ音楽療法Ⅰ」 (岩崎学術出版社,2017)。
M-14	講義系 (音楽療法)		音・音楽のもつコミュニ ケーションの力について	音楽療法は音楽を用いた心理療法と言 われているように、音や音楽を用いて クライアントの問題や悩みを解決して いきます。では、カラオケも音楽療法 と言えるのでしょうか？治療アプロ ーチを援用することによって、十分に音 楽療法になります。その治療アプロ ーチを学ぶことで、音楽が個人レベルか ら地域や社会などのマクロレベルに対 し、どのように貢献できるかを学んで みたいと思います。好きな音楽の聞き 方が変わるかもしれません。	

【美術学科】

■出張講義（講義系） ※実技系の講義は「がんばれ！美術の時間」に記載していますのでご覧ください。

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
A-1	講義 (進路指 導)	全教員対応	美術・デザインの学びと仕 事	美術・デザインの学びによってどのよ うなことが養われるのか、そしてどの ように社会や仕事と繋がるのかについ て、身近な例をもとに紹介します。	
A-2	講義 (絵画)	教授 佐々木剛	デッサンについて	人間はどのように世界を認識し、2次 元で表現してきたか。歴史と土地、民 族の違いによるデッサンの違いや変遷 を考えてみましょう	武蔵野美術大学大学院造形研究科油彩専攻修了（修士。 共通基礎、デッサン、油彩の科目担当。 全道展会友。白日展会員。
A-3	講義 (現代美術)	教授 今 義典	コンテンポラリーアートの最前線	世界各国の最先端芸術を動画や写真を 交え、分かりやすく解説していきます。	東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻(美術学士)終了後 (1992年)、東京藝術大学美術学部大学院美術研究科美術 修士(1994年)修了。ドイツ政府給費留学(DAAD)クンスト アカデミーデュッセルドルフ写真学科入学(1995年)、3年 間のドイツ滞在後1998年帰国。2001年より東京藝術大学 美術学部附属写真センター常勤助手6年を経て、2008年本 学着任。現在芸術学部美術学科メディア表現領域教授。 専門は現代美術。主にコンテンポラリーアートでの写 真・映像表現をベースに研究を行っている。90年代から 現在まで国内外で発表を行う。
A-4	講義 (写真)		記録としての写真、 表現としての写真	写真を大きく3つに大別すると、記録の 特性が強い「報道写真」と、美しさや ある種の問題提起をしていく「芸術写 真」、そして商品の販売促進のための 「広告写真」などおおまかに3つに大別 されます。 この講座ではこれらのジャンルについ て焦点を当て、様々な写真作品を紹介 していきます。	

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
A-5	講義 (日本画)	教授 平向功一	日本画のひみつ	日本画の魅力は日本ならではの考え方 や技法、独特な画材・道具にあります。 素材に触れる、金箔を貼るなどの体験 をしながら、日本画の歴史や画材、伝 統的な技法などを通して日本画と日本 文化を深く学びます。	北海道教育大学教育学部札幌分校特別教科（美術・工 芸）卒業。同大学大学院修了。本学では日本画専攻を担 当。道内外の展覧会に出品。また、教職授業の美術教育 も担当。美術教師を目指す学生が中心となり、スクール ミュージアム〔鑑賞授業）や大型のアートワーク（表現 活動）などを行うオオタニアートキャラバンを道内各地 の学校で展開している。小学校・中学校の教科書編集に も携わる。
A-6	講義 (日本絵 画)		琳派にふれる	琳派とは伝統的なやまと絵の手法を洗 練させ、明快な構図と華やかな色彩で 描かれた装飾性の高い絵画様式のこ とをさします。本授業では琳派の歴史を 学習しながら伝統的な日本絵画の世界 を学びます。	
A-7	講義 (版画)	講師 吉田 潤	浮世絵アヴァンギャルド	意外と知らない浮世絵の世界。何がそ んなに凄いのか!?モネやゴッホにも影 響を与えた、庶民のための摺りもの(印 刷物)には色々な仕掛けが隠されていま す。「美術」という概念がなかったか らこそ生まれたユーモア溢れる魅惑な 世界を、作品ごとに解説しながら紹介 します。	東京藝術大学美術学部日本画科専攻卒業・同大学大学院 美術研究科修士課程版画専攻修了。同大学教育研究助 手、京都精華大学版画専攻の特任講師、東京藝術大学の 非常勤講師を経て現職。専門は版画、日本画。版画的思 考法によるミクストメディアの作品を制作。個展やグ ループ展、国内外でのアートフェアなど展覧会多数。
A-8	講義 (彫刻)	教授 藤本和彦	モデリングとカービング、 その間やその先	モデリング、カービングというと、彫 刻の分野で一般的に使われる技術や考 え方ですが、素材や方法から、どちら とも決め兼ねるものもあり、そこで生 み出されたものを、20世紀から総称 として、オブジェと呼ばれてきまし た。ですが現在では細分化が進んだ り、そのことも違った考え方が、ちらほ らと・・・「立体表現」の捉え方を少 し膨らませてみましょう。	北海道生まれ。北海道教育大学教育学部札幌分校特別教 科（美術・工芸）卒業。本学では塑造や石膏直付け、石 彫など、立体表現専攻の授業を担当。 国内、国外の展覧会に出品。研究では、様々な「素材」 と「物体」「思考」の関係性を探り、表現としての適し たクオリティのあり方や「場」など、成立の要素に興味 を持ち制作。現在 北海道美術協会会員

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
A-9	講義 (デザイン)	教授 鳥宮尚道	デザインにできること、求められること	私たちが身の回りで使う“モノ”のデザインを事例に、デザインがこれまでどのように発展してきて、これから先どのように進化していくのだろうか、という流れを豊富な資料を紹介しながら解説します。	筑波大学大学院芸術研究科を修了後、東北芸術工科大学生産デザイン学科助手、京都工芸繊維大学工芸科学研究科デザイン学部門助教を経て本学講師、2017年より准教授。博士（学術）。専門は情報デザイン、プロダクトデザイン。生活の中で使用する道具やサービスに求められるニーズを定性・定量の両側面から探り、使う人のことを考えてデザイン、提案することを企業、行政、地域とともに実践した経歴を持つ。
A-10	講義 (デザイン)	教授 島名 毅	ちょっと{みらい}考えてみた。 ～アート、表現、AIと人間が共存する世界～	近年SNSやニュースで度々耳にする「 生成AI 」を切り口に、未来のクリエイティブのあり方を探究します。生成AIとはどのような仕組みなのか、具体的にどのような作品が生まれているのか、最先端の事例を交えながらわかりやすく紹介します。	1977年東京生まれ、千葉県育ち。東京藝術大学美術学部デザイン学科を卒業後、同大学修士課程デザイン専攻を修了、教育研究助手・助教を経て札幌大谷大学美術学科グラフィック・イラスト専攻教授を務める。専門はアートディレクションを軸にデザイン学やグラフィック媒体を中心に扱い、近年は生成AIを活用した新たな表現手法の研究にも注力している。アニメをはじめとするサブカルチャーへの造詣も深く、幅広い視点からクリエイティブの可能性を探究している。
A-11	講義 (デザイン)	講師 戸澤逸美	日本と海外の素敵なデザイン	私たちが住む日本はたくさんの素敵なデザインに溢れています。大都市だけではなく、地方に目を向けてもそこにはアイディアや工夫を凝らせたデザインがたくさんあります。また、日本の外にも目を向けてみましょう。海外のデザインもまた同じです。様々な地域のデザインを紹介し、日本との違いにも目を向けます。	北海道岩見沢市生まれ。北海道教育大学教育学部岩見沢校芸術課程美術コース卒業。ポズナン芸術大学（ポーランド）大学院修士課程修了（グラフィックデザイン専攻）。その後企業にてグラフィックデザイナーとして勤め、パッケージデザインなどに携わる。現在はイラストレーションの制作も行う。

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
A-12	講義 (デザイン)	教授 小町谷圭	コンピューターで映像編集 を始めよう	アートやデザイン分野では、コンピューターを使った映像編集は欠かせないものになっています。業務用の編集ソフトを利用したポストプロダクションと呼ばれる作業も気軽に始められるものになりました。では何を用意して、どこから始めれば良いのでしょうか。これから始めたい人向けの、入門講座です。	東京生まれ、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業・同大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。同大学、武蔵野美術大学映像学部の非常勤講師を経て現職。絵画制作を経て電子メディアを使用した作品を多数発表。専門はタイムベースド・メディア、メディアアート・プロジェクトなど。
A-13	講義 (デザイン)	准教授 玉野	学生課題から見える社会問題	身近な社会問題に対する意見を、言語に頼らず 純粋な視覚表現のみ で伝える課題「VISUAL OPINION（ビジュアル・オピニオン）」 。この課題では、視覚的要素を駆使して社会問題を表現する方法を探求しました。本講義では、20年間にわたり学生たちが生み出してきた多様な世界観や社会的テーマと作品を通じ、視覚表現が持つ訴求力やコミュニケーションの可能性について考察します。	1972年埼玉県川越市生まれ。武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業、FABRICA Applied Arts and Communications Research Center（イタリア）招待留学、福井工業大学大学院工学研究科博士後期課程満期退学。専門はヴィジュアルコミュニケーションデザイン。イタリアではOliviero Toscani に師事。主に国連(UN)関連の企画などに携わる。また世界80カ国で発刊されるVisual Magazine「COLORS」誌のArt Directorを務める。現在はタイ北部ランナー地域にて行われる伝統民族工芸のイノベーションプロジェクト「koyori project」に国際コンサルタントとして参加している。

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	講師プロフィール
A-14	講義 (デザイン)	講師 宮本一行	国際芸術祭レビュー	日本では1946年からはじまったアートの祭典・芸術祭。今では世界各地で国際芸術祭が盛んに行われるようになりました。私たちが住んでいる札幌でも、2014年から「札幌国際芸術祭」が開催されています。本講義では、国際芸術祭の事例や展示作品を紹介しながら、現代のアーティストによる思想や技法を読み解きます。	千葉県生まれ。秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科博士課程修了。博士（美術）。サウンドスケープデザイン事務所、武蔵野大学環境研究所、秋田公立美術大学大学院助手を経て現職。専門はインタラクションデザイン、映像・音響メディア論。身の回りの環境に潜む音や光などの根源的な現象に着目した活動を展開し、制作行為を通じて人間と環境の相互関係の在り方を探究している。
A15			身の回りの情報を可視化するデザイン「インフォグラフィックス」	インフォグラフィックスは、対象が持つ情報を説明するためのデザインであり、コロナ禍においても世界中で様々なマップやグラフが登場しました。本講義では、対象を観察して描く「写生画」から「説明図」へと転換した歴史を振り返りながら、情報を可視化するデザイン（インフォグラフィックス）について概説します。	

美術に関する創作活動の支援をします。

- ・ 学校に美術の授業や美術クラブがなく指導が受けられない人
 - ・ どんな画材(道具)を使用したらいいかお悩みの人
 - ・ 自分の作品を専門の先生に評価をしてもらいたい人
- などを支援します。

問合せ先 入試広報課

【地域社会学科】

■出張講義

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
S-1	社会学	教授 西脇裕之	防犯まちづくりの光と影	「人を見たら泥棒と思え」。「渡る世間に鬼はない」。あなたはどちらの言葉にリアリティを感じますか。この講義では近年の犯罪と防犯活動についての市民意識を確認した上で、防犯まちづくりを支える環境犯罪論という考え方を解説します。また、防犯まちづくり活動がもたらすプラスとマイナスの影響について受講生と一緒に分析しながら、高校倫理における「幸福と功利」の学習へつなげて考えます。	慶應義塾大学社会学研究科後期博士課程単位取得退学。専門は社会学説史。主な研究テーマは、コミュニケーションの意味を送り手の意図ではなく受け手の反応に求める相互行為論の発想とプラグマティズムというアメリカの哲学的伝統との関連、その応用編として都市環境におけるコミュニケーションや行動の誘導についても研究を広げる。本学においては社会学部開設以来、社会学基礎という社会学の入門講義を担当。
S-2	社会学	教授 西浦 功	大震災。その時あなたは どう しますか？（ワークショップ 形式）	2018年9月の胆振東部地震の時のように、震災には誰にとっても他人事ではありません。ブラックアウトで電気が使えなくなる等、震災は我々の生活に様々な形で被害を及ぼします。このような極限状態に置かれたとき、どのようにすれば安全な生活を取り戻すことができるでしょうか。 震災に関する学びとグループワークを通して、震災後の状況をうまく乗り切るための方法を参加者みなさんで一緒に考えてみましょう。	1972年北海道稚内市生まれ。北海道大学大学院博士課程満期退学。日本女子大学、北翔大学を経て現職。専門は福祉社会学。「福祉のまちづくり」を主たる研究テーマとして、福祉ボランティア活動や在宅福祉サービスにまつわる調査研究を行ってきた。近年では、「買物難民」問題をはじめとして地域で孤立する住民の生活ニーズを把握し支援策を検討するため、美唄市におけるフィールド調査を進行中である。
S-3	英語	教授 石川希美	英語で表現してみよう	この講義では、英語で各自が自分の思いや考えを書いて表現するのがねらいです。書くことは、自分の知っている表現を使う機会であり、使いたい表現を探す機会にもなるでしょう。また、それぞれが書いたものを発表しあうことで、自分では気づかなかったことを知るかもしれません。これは、自分の考えを発表する、他の人の発表（考え・意見）を聞いてさらに考えを深めていくといった大学での学びを体験することにもつながります。	米国カリフォルニア州立大学ロングビーチ校言語学科（TESOL専攻）修士課程修了。これまで道内の中高一貫校、専門学校、高等教育機関に勤務。通訳や外国語ボランティアの経験もある。現在は、英語を話す流暢さを高めることについて研究している。主な研究分野は、英語教育、ライティング、教科教育実践指導、ESPなど。

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
S-4	経営学	准教授 丸山宏昌	ゲーム体験で学ぶ SDGs×地 方創生	2016年に国連で採択された持続可能な開発目 標（SDGs：Sustainable Development Goals）を きっかけに、世界各国で取り組みが進む中、 我が国でもSDGsをどのように達成するか議 論が繰り広げられています。まずはゲームを 通して楽しく体験し、SDGsそのものがどう いったものか、そして、大学の学びとどうつ ながるのか、どう生かしていくかを考えま す。	13年間システムエンジニアとしてさまざまな分 野のエンジニアとチームを組みシステム開発に 従事。その後、人材育成会社に転職し、現職に 至る。担当科目は情報処理演習。専門は組織社 会学、人材開発論。学びと組織をめぐる現象に ついて学習理論、情報、地域マネジメント、コ ミュニケーション論の視点から読み解くことが 研究テーマ。大人の学び・成長を支援すること に関心を持ち、企業・組織における人々の学 習・成長・コミュニケーションについて研究し ている。
S-5	法学	講師 津幡 笑	18歳から大人～成年年齢引 き下げに伴う法律トラブルを 予防しよう	契約ってなんだろう？ 18歳成年を迎えてで きることできないことを学び、消費者トラブ ルに巻き込まれないためにはどうしたらよい かを考えます	北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位 取得満期退学。北海道大学法学研究科COE/GCOE 研究員、法学研究科附属高等法政教育研究セン ター協力研究員を経て現職。 専門は知的財産法。著作物の類似性、営業秘 密、競争禁止義務に関する論文を執筆してきた 他、近著として『18歳からはじめる知的財産 法』を分担執筆。
S-6	文学	講師 上戸理恵	日本語ライティングの基本	SNSやメールでのコミュニケーションが一般 化した昨今、「日本語を使って書く」機会はい ままで以上に増えています。大学ではレ ポート作成をはじめ、高度な文章作成のスキ ルが必要になりますが、そこで気をつけてほ しいポイントは、日常的な文章作成の場面で 求められることとも共通しています。誤解な く相手に情報を伝えるために、どのようなこ とに注意したらよいのかを学びます。	藤女子大学文学部卒業。北海道大学大学院文学 研究科修士課程修了。同博士後期課程単位取得 満期退学。これまでに、非常勤講師として複数 の大学で日本語表現や文学の授業を担当。専門 は日本の近現代文学。共著に『大学生のための 日本語表現』（鼎書房）、『〈戦後文学〉の現 在形』（平凡社）がある。

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
S-7	社会学	准教授 仙波希望	都市を／から学ぶとはどうい うことか	当たり前のものであるとして考えている「都市」。しかし、歴史上さまざまな国や地域において「その場所が誰のものか」をめぐるこの「都市」は争点であり続けました。昨今、持続可能性の観点から問い直されている「都市」のありかたを、19世紀中葉のロンドン・マンチェスター、1960年代のニューヨーク、そして2020年代の日本の諸地域を題材に、共に考えてみましょう。	東京外国語大学大学院総合国際学研究所博士後期課程国際社会専攻修了。博士（学術）。専門は都市研究、カルチュラル・スタディーズ。主な著書に『ありふれた〈平和都市〉の解体』（単著、以文社、2024）、『惑星都市理論』（共編、以文社、2021）、『忘却の記憶』（共編、月曜社、2018）。主な業績に「『平和都市』の「原爆スラム」」（『日本都市社会学会年報』、2016、第7回日本都市社会学会若手奨励賞受賞）。
S-8	教育学	教授 加藤裕明	大学で重視される学び （中・高生対象）	小学校から高校までの主要な学習方法は、「先生」から与えられた内容を「覚える」というものでした。しかし大学で重視される学びは、「覚える」ことではなく、自分で「問いを立て」、他者と「対話する」というものです。そこで、本講座では、大学で重視される学びの技法としての「問いを立て」「対話する」という営みを、高校生の皆さんに実際に体験していただきます。	公立高校における教師経験（30年）をふまえ、北海道大学大学院教育学研究院において博士号を取得。Ph.D.（教育学）。専門は、探究学習、対話的な学び、拡張的学習、地域学習、演劇教育
S-9	社会学	准教授 金昌震	BTSと韓国の徴兵制について 考えよう（公平と平等）	韓国の徴兵制は、男性に一定期間の軍務を義務付ける制度です。この制度は、社会や若者文化に深い影響を及ぼしています。特に、世界的な人気を誇るBTS（防弾少年団）に対する徴兵特例を巡る議論は、韓国国内外で大きな注目を集めています。ここでは、韓国の徴兵制度の歴史と背景、徴兵制度が若者文化に与える影響、そしてBTSをめぐる徴兵特例の公平と平等への議論とその影響について考えます。	北海道大学大学院文学研究科博士課程人間システム科学専攻修了。北海道大学研究員、札幌大学女子短期大学部准教授を経て現職。専門は比較社会学、地域社会学で、子育て支援や高齢者扶養・介護など少子高齢化社会における国際比較研究。札幌市子ども子育て会議委員。

■講演会 ※教員研修やPTA研修などの講演会へ本学の教員を講師として紹介いたします。

申込 番号	担当	講演会テーマ	講演会内容	プロフィール
SL-1	教授 西浦 功	大震災。その時あなたは どう しますか？	2018年9月の胆振東部地震のよう に、震災には誰にとっても他人事では ありません。ブラックアウトで電気が 使えなくなる等、震災は我々の生活に 様々な形で被害を及ぼします。このよ うな極限状態に置かれたとき、どのよ うにすれば安全な生活を取り戻すこと ができるでしょうか。 近年の様々な震災時の諸問題とその解 決にかんする様々な事例を紹介しつ つ、震災後の状況をうまく乗り切る方 法について解説します。	1972年北海道稚内市生まれ。北海道大学大学院博士 課程満期退学。日本女子大学、北翔大学を経て現 職。専門は福祉社会学。「福祉のまちづくり」を主 たる研究テーマとして、福祉ボランティア活動や高 齢者向け在宅福祉サービスにまつわる調査研究を 行ってきた。近年では、「買物難民」問題をはじめ として地域で孤立する高齢者の方々の生活ニーズを 把握し支援策を検討するため、美唄市における フィールド調査を進行中である。
SL-2	講師 津幡 笑	パクリ？オマージュ？イラスト の類似性	インターネット上で時折「トレス疑 惑」が炎上し、絵画的な著作物の類似 性が問題になることがあります。モラ ルの観点ではなく著作権法上の論点に 的を絞り、イラスト・絵画・写真表現 の著作物の類似性が争われた裁判例を もとに、法的な線引きはどのあたりに なるのか事例を解説していきます。	北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得 満期退学。北海道大学法学研究科COE/GCOE研究 員、法学研究科附属高等法政教育研究センター協力 研究員を経て現職。 専門は知的財産法。著作物の類似性、営業秘密、競 業禁止義務に関する論文を執筆してきた他、近著と して『18歳からはじめる知的財産法』を分担執筆。
SL-3	講師 上戸理恵	テンプレート文章作成法	何か文章を書くときに、「テンプレ ート」（定型文）を使う場面は少なくあ りません。レポート・論文を書くとき も、定型表現を上手に使いこなしながら 調査報告や論証をすることが重要で すし、社会人として実用文（報告書や 提案書）を書くときにも、テンプレ ートを使いながら、その人ならではの論 点や気づきを盛り込むことが求められ ます。テンプレートを使って文章を書 くときのコツをお話しします。	藤女子大学文学部卒業。北海道大学大学院文学研究 科修士課程修了。同博士後期課程単位取得満期退 学。これまでに、非常勤講師として複数の大学で日 本語表現や文学の授業を担当。専門は日本の近現代 文学。共著に『大学生のための日本語表現』（鼎書 房）、『〈戦後文学〉の現在形』（平凡社）があ る。

申込 番号	担当	講演会テーマ	講演会内容	プロフィール
SL-4	教授 加藤裕明	「総合的な探究の時間」のデザイン（中学・高校教員、教育委員会事務局等対象）	現在、高校教育の学習のあり方は、これまでの「教え込み」から、生徒自身による主体的な探究へと大きく舵を切られることを迫られています。そこで、本講座では、「総合的な探究（学習）の時間」を手はじめに、探究学習のデザイン（指導法）について、中学・高校の先生方や教育委員会関係者の方々と学びを深め合いたいと思います。	公立高校における教師経験（30年）をふまえ、北海道大学大学院教育学研究院において博士号を取得。Ph.D.（教育学）。これまで複数の高校、自治体、国際協力機関等において、「総合的な探究の時間」や地域探究学習の理論と実践について講演、ワークショップを担当しました。専門は、「総合的な探究の時間」の指導法、対話的な学び、拡張的学習、コミュニティ・スクール、部活動の地域移行等
SL-5	准教授 金昌震	「諸社会・地域を理解する際に必要な思考『比較』：自分と他者を理解する	私たちが異なる社会や地域を理解するために必要な「比較」という思考法について探ります。比較することで生じる主観性、文化絶対主義、文化相対主義といったキーワードに焦点を当て、私たちがどのように自分と他者を理解し、異文化間のコミュニケーションを豊かにするかを考察します。比較の持つ力を学び、多様な視点から世界を見つめることで、より深い理解と共感を育む機会になります。	北海道大学大学院文学研究科博士課程人間システム科学専攻修了。北海道大学研究員、札幌大学女子短期大学部准教授を経て現職。専門は比較社会学、地域社会学で、子育て支援や高齢者扶養・介護など少子高齢化社会における国際比較研究。札幌市子ども子育て会議委員。

SL-6	准教授 仙波希望	〈平和都市〉とは何か	「広島は原子時代という世紀を擁する原子爆弾で潰滅し、後詔勅にもお述べになっているように、これが終戦への一つの導因となった。広島は全世界の人々の眼にクローズアップされたのだ。戦争へ原子爆弾が登場したことが世界歴史から永久に抹殺されぬと同様広島もまた歴史上特筆さるべき都市となったわけだ。[...] 私はこの広島が戦争終結をもたらした平和への記念都市となるため全世界の有志から復興資金、資材を募りたいと思う。瀬戸内海大観光地帯のセンターポイントとして広島は永世中立の一大文化都市としたい。」 これは1945年12月19日付の中国新聞朝刊に掲載された、楠瀬常猪(くすのせ・つねい)広島県知事の復興構想の抜粋です。周知の通り、当時の広島は原爆の傷跡が色濃く残る文字通りの「焼け野原」でした。ゆえにその場所を「瀬戸内海大観光地帯のセンターポイント」としたいとする楠瀬の言葉は、当時の状況に鑑みても異質に見えます。そして現在の広島は確かに、巨大な観光都市としての様相を呈しているでしょう。 この広島を題材に、「平和都市」「観光都市」を標榜するに至る都市の展開を丹念に検討したいと思います。まさに「国際平和文化都市」の文字通り看板を掲げるこの街は、いかにしてこうしたスローガンを彫琢し、そして都市空間へと広げていったのでしょうか。あえて19世紀から20世紀までと射程を広めにとり、〈平和都市〉の転回、ダイナミズムを明るみに出すことを目的とします。	東京外国語大学大学院総合国際学研究科博士後期課程国際社会専攻修了。博士（学術）。専門は都市研究、カルチュラル・スタディーズ。主な著書に『惑星都市理論』（共編、以文社、2021）、『忘却の記憶』（共編、月曜社、2018）。主な業績に「「平和都市」の「原爆スラム」」（『日本都市社会学会年報』、2016、第7回日本都市社会学会若手奨励賞受賞）。近刊として『ありふれた〈平和都市〉の解体——広島をめぐる空間論的探求』（以文社、2024）。
------	-------------	------------	---	---

【保育科】

■出張講義

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
C-1	入門 講座	保育科 専任教員	保育者入門	保育者になるための資格の種類と内容、取得のための勉強や求められる資質、就職の動向に関する情報などをお話しします。保育者志望の方だけでなく、志望について迷っていたり、進路を決定していない方も受講可能です。内容はご希望に応じて調整いたします。	
C-2	保育原理	准教授 大澤亜里	子どもの権利と保育	「子どもの権利条約」では、0歳の赤ちゃんから18歳までを「子ども」と捉えています。しかし「子ども」たちは自分の権利について学ぶ機会が限られています。この講義では、「子どもの権利条約」はなぜつくられたのか、子どもにはどのような権利があるのかを学び、子どもの権利を尊重した保育のあり方について考えます。	北海道大学大学院教育学院博士後期課程修了。博士（教育学）。専門領域は教育福祉。国連子どもの権利条約の成立に影響を与えたとされているポーランドの教育学者ヤヌシュ・コルチャックの思想と実践に関心を持ち、ポーランドに留学。ワルシャワ大学にて研究を行い、修士号を取得。教育と福祉の歴史から、また現在の子どもを取り巻く様々な問題から、子どもの権利の意味について検討している。
C-3	心理	教授 星 信子	赤ちゃんとの コミュニケーション	赤ちゃんは人と関わるための基本的な力をもって生まれてきます。生後間もない赤ちゃんの持つ力とその意味を学び、赤ちゃんとのコミュニケーションの大切さについて考えます。	北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得中退（教育学修士）。専門分野は発達心理学。人の様々な行動や感情の感じ方・表し方の個人差を表す概念である、気質の発達に関心を持って研究に取り組んできた。最近では、乳幼児の気質自体の発達に加え、それを支える子どもの心身の特徴や、養育環境の特徴に注目して観察や調査などを行っている。著書：「子どもの育ちを支える発達心理学」「子育ての発達心理学」など

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
C-4	音楽	教授 松井亜樹	子どもと音楽のかかわり	子どもの発達過程を踏まえながら、表現する力を育めるよう保育の現場で役に立つ音楽の知識、技術のアドバイスをします。実際に手作り楽器を作って演奏したり、手遊びをしたりしながら、表現活動を実践します。講義の実施には、ピアノもしくはキーボードが必要となりますが、ない場合は、聴く活動（サウンドスケープの活動）に取り組むこともできます。（手作り楽器を作る場合は、折り紙、セロハンテープ、のり、はさみなどが必要になります）	北海道教育大学教育学部札幌校芸術文化課程（音楽コース）卒業。同大学院教科教育専修音楽教育専攻（声楽分野）修了。ロシア・サンクトペテルブルグ音楽院マスタークラス修了。全国大学音楽教育学会会員。平成28年度札幌文化奨励賞受賞。平成28年度札幌文化奨励賞。平成25～令和元年度教員免許状更新講習講師。平成25年、平成27年札幌私立幼稚園教育研究大会分科会講師。令和元年度第2回北海道私立幼稚園協会経営・リーダー研修会パネリスト。令和4年度、5年度幼児教育初任保育者研修一般研修2期講師。北海道幼稚園教諭養成連絡協議会理事。乳幼児期の歌唱表現活動について研究し、ロシアの音楽教育との比較研究も行っている。
C-5	美術	教授 加藤雅子	子どもと造形教育	園や学校における造形教育のあり方について、実践例などを通して共に考えます。「描きたい、つくりたい！」という気持ちの高まり、「どうやって描こうか、つくろうか。」という試行錯誤、思考判断、「できた！みんなに観てほしい。」というさらなる意欲の醸成など、表現活動・ものづくりは自分づくりでもあります。園や学校での指導の大切な指針である教育指導要領、学習指導要領のポイントなどに絡めながら学びます。	北海道教育大学教育学部札幌校芸術文化課程（美術コース）卒業。 大学卒業後32年間、中学校美術、小学校教諭。平成30年3月まで札幌市立栄東小学校校長を勤めた。その間、子どもの造形教育を中心に授業研究を行い、札幌市造形教育研究連盟会長を歴任。その後、北海道教育大学札幌校で教員養成に携わり、2023年から現職。本学においては、子どもの心と美術教育・幼小の連携が研究テーマ。公認心理師でもあり、スクールカウンセラーとして心のケアを必要とする児童生徒、保護者の相談にも携わってきた。

申込 番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
C-6	子育て支援	講師 遠山景広	子ども・子育てと私たちの社会	子どもたちの生活する社会の姿について、身近な場を例に考えていきます。子どもの目線や視界では、いつもの場所がどのように見えるのかなどを体験しつつ、子どもたちが生活する場所はどうな場所なのかを感じてみましょう。さらに、そこでの活動にはどんな人が・どのようにかかわることが出来るのか、皆さんの得意なことを例に、様々な可能性に気付いて「子育て支援」のことを知ってみましょう！	北海道大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専門分野は都市社会学、福祉社会学、子育て支援。大学院時代から、市内の地域子育て支援拠点でボランティアとしてかかわりながら、地域子育て支援の研究を進めてきた。人とのかかわりが薄れやすい現代社会の中で、子どもや子育て家庭を孤立させない・したままにしないために、「地域社会」をいかに子育ての場としていけるか、現場での経験を活かし共同と協働の2つの視点から探っている。
C-7	自然	教授 田中住幸	子どもと楽しむ自然遊び	幼児や児童と一緒に楽しむことができる自然遊びを紹介します。視覚、聴覚、触覚、嗅覚など、身体のような感覚を使って自然を体感することのできる遊びを楽しみながら身近な自然に目を向けていきましょう。全国で広がりを見せる自然保育（自然体験や生活体験を通して行う保育）の動向についても解説します。中庭など、一部屋外を使用したいです。室内のみでの展開も可能です。	東京農工大学大学院連合農学研究科博士後期課程修了。博士（農学）。大学卒業後20年間、幼児や児童を対象にした、自然遊びの指導に従事する。2013年社会人で大学院を修了した後、専門学校講師や飯田女子短期大学幼児教育学科教員を経て2021年より現職。子どもたちや保育者が自然遊びを楽しむには、どんな仕掛けが必要かを考えることが研究・実践のテーマ。また、安心・安全な保育を行っていくための研修会講師や教材開発も行っている。